

【国語科編】

1 学習方法

今回は家庭でも取り組みやすい、「読み物」と「漢字」にスポットライトを当てます。

(1) 読み物編 ～文学的文章・説明的文章～



A 文学的文章（物語文） **めあて 人物の心情の変化を捉えよう**

- 登場人物に線を引き、主人公とその他の人物を確認しましょう。
- 場面が移り変わったら、印（線を引く、マークを書くなど）を入れてみましょう。
→場面の移り変わりは、場所、時間、時代などが変わる部分にあります。
- どのような出来事があり、人物の気持ちがどのように動いているのか確認しながらもう一度読んでみましょう。

B 説明的文章（説明文） **めあて 文章の構成や、説明の仕方を捉えよう**

- 段落に番号を振りましょう。
- 文章の中の「問いかけの文」に線を引きましょう。
→「なぜ……だろう」「……だろうか」など、問いかけの表現を見つけましょう。
- 「問いかけの文」に対応する「答えの文」を見つけ、線を引きましょう。
- 「答えの文」に行き着くまでに、どのような説明がされているか確認しましょう。

(2) 漢字編

- 教科書の新出漢字を、「読み方」「熟語（＝その漢字を使った言葉）」をセットで覚えられるよう、漢字ノート等に練習していきましょう。
- 練習の際には、その漢字を使った様々な熟語を書いてみましょう。
(例) 逃……逃げる、逃す、逃走、逃避 / 封……開封、封印、密封、封筒

2 ポイント

◆ペンを握って読んでみよう。

なんとなく読むだけだと「斜め読み」となってしまう、頭には残りません。考えを整理しながら、教科書に印をつける、ノートに書き込む等の工夫をしていくと良いでしょう。



◆書けない漢字に時間を使おう。

すでに書ける漢字を何度練習しても、それ以上の大きな効果は望めません。一通り練習が済んだら、「書くときに手が止まってしまうがちな漢字」の練習に時間を割きましょう。

◆読書に挑戦してみよう。

ジャンルや本の難しさは問いません。読みやすそうなものを、自分のペースで読んでみましょう。最初の数ページを乗り越えられる本がおすすめです。読む力も育つ。お家の人にも褒められる。読書は最高の暇つぶしです。

◆情報を集めて書き溜めよう。

様々なニュースは飛び交う今だからこそ、気になるニュースを自主学习ノート等に書き溜めましょう。テレビ、ネット、新聞、雑誌、それぞれどのようなことをどのように報じているでしょうか。情報を比較することで、様々なことが見えてきます。

3 評価の観点と方法

評価の観点と具体的な事例	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校で学習した漢字に加え、中学校で学習する漢字を読み書きすることができる。 ○ものや動作、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。 ○単語の種類や活用について理解することができる。 ○体言止め、倒置、比喻などの表現技法について理解し、使うことができる。 ○古文や漢文の決まりを知り、古典に親しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えが分かりやすく伝わるように、表現を工夫して話したり書いたりすることができる。 ○段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ○場面の展開や登場人物同士の関係から、心情の変化を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○粘り強く課題追究に取り組んでいる。 ○これまでに学習したことをふまえて、次の学習に取り組もうとしている。 ○自分なりに工夫して学習に取り組もうとしている。
評価の方法	<p>◇小テスト・定期テスト・作文等の表記・スピーチ等の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや文法などの問題を解くことができるか。 ・作文やスピーチなどで、学習した漢字や表現技法を使うことができるか。 	<p>◇授業中の発言、ノート・ワークシートの記述、作文・スピーチ・話し合い等の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文やスピーチなどで、考えを伝える工夫をすることができるか。 ・授業中に考えたことを、ワークシート等にまとめることができるか。 ・友達の意見を生かして、考えを深めることができるか。 <p>◇定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書く問題を解くことができるか。 	<p>◇授業中の発言・態度</p> <p>課題に対して意欲的に取り組み、自分の考えを表現しているか。</p> <p>◇振り返りシート</p> <p>具体的な事例にあるような振り返りをしているか。</p> <p>◇作文・スピーチ・話し合いなどへの取り組み</p> <p>よりよいものとなるように意欲的に取り組んでいるか。</p>

4 授業の受け方・ポイント

○よく読もう

国語の授業で一番大切なのは、教科書をよく読むことです。大切なところにマーカーや鉛筆で線を引きながら、細かい部分まで見落とさずに読みましょう。読めない文字は授業中に読み方を確認しましょう。

○よく考えよう

授業中に出された問題について、教科書を手がかりにしてじっくり考えよう。すぐに答えが出なくてもあきらめずに考えよう。答えがすぐに分からなくても、考えるプロセスの中で読解力が身につきます。

○たくさん表現しよう

考えたこと、分かったことは積極的に表現しよう。表現は、発言だけに限らず、ワークシートに書くことでもできます。

5 家庭学習

【予習】

○文章は、事前に読んでおくことで内容理解の深まりにつながります。ただ読むだけではなく、物語文では「場面分け」、説明文では、「問いと答えを探す」など、目的をもって読みすすめるとよいです。

○漢字の学習は、比較的家庭学習で取り組みやすいです。ノート等を利用し、読み方や熟語をセットで覚えるように心がけることで記憶に残りやすい学習になります。

【復習】

○授業の復習をその日のうちに行いましょう。日々積み重ねておくことで、定期テスト前などの復習がスムーズに行えます。